

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語				学期	曜日	校時
英語名	German						
担当 教員名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	金曜日 金曜日 2校時 2校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>初級文法の基礎の上に、物語などのドイツ語文章を読む力を身につける。</p> <p>前期の14回と後期の6～8回ぐらいで、ドイツ語中級の教科書『グリム兄弟で学ぶドイツ語』を読む。内容はグリム兄弟の童話4編。後期の残りの6～8回は、やはりよく知られた童話、「ラプンツェル」（プリントを使用）を読む。</p> <p>前者のテキストは平易なドイツ語で書き直されたものであり、また後者はグリムの原文であるが、詳しい注を参考にすることができるので、どちらも辞書をひきながらどんどん読んでゆくことができる。結果として多くのドイツ語文を読むことになり、多読の楽しさを味わうことができる。</p> <p>同時に文法に関する多くの練習問題やテキストの内容についての設問に取り組む。</p> <p>教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。</p>							
テキスト、教材等							
テキスト： 『グリム兄弟で学ぶドイツ語』 本橋右京 他編 郁文堂							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
2L4	定期試験（約90%）、および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10%）を考慮して評価する。						
授業計画							
<p>1回の授業で4～5人の人に和訳を発表してもらおう。前もって割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。折にふれていくつかの文法事項に焦点をあてる。</p> <p>前期</p> <p>第一回～第五回 6～15頁、「猫とねずみの共同生活」 動詞の人称変化など</p> <p>第六回～第十回 18～31頁、「長靴をはいた猫」 動詞の三基本形など</p> <p>第十一回～第十四回 34～45頁、「ヘンゼルとグレーテル」 話法の助動詞、関係代名詞など</p> <p>後期</p> <p>第一回～第六回 48～58頁、『鉄の暖炉』 zu不定詞、副文など</p> <p>第七回～第十四回 「ラプンツェル」（プリント） 文法では、とくに重要動詞の3基本形、現在完了、接続法、また代名詞の用法などに焦点をあてる</p>							